■広津和郎 小説家、評論家。若くして地位を確立、現実主義的評論で高く評価され、晩年を松川裁判の批判に捧げた。

ひろつかずお

足尾鉋毒始・1891＝ 硯友社の作家広津柳浪の次男として東京市牛込区に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 3歳：

ビア/国産化・1900＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝14歳：

伊藤博文暗殺1909＝18歳：麻布中学校卒業し、早稲田大学に入学。

明治天皇没・1912＝21歳：_正宗白鳥やチェーホフ、アルツィパーシェフなどの影響を受けて、創作や翻訳を始め、舟木重雄、葛西善蔵らと同人雑誌{奇蹟}を創刊。

早稲田大学英文科卒業。

民本主義・・1916＝25歳：_森田草平らと「当来文芸の基調たらんとする人道主義に対する批判」、

ロシア革命・1917＝26歳：*評論「怒れるトルストイ」「神経病時代」。同時代の青年像を“性格破産者”として描いた「神経病時代」で新進作家として認められる。

本格政党内閣1918＝27歳：

ベルリン条約・1919＝28歳：「やもり」、

大暴落・・・1920＝29歳：*「怒れるトルストイ」「志賀直哉論」など含む評論集「作者の感想」を刊行、評論家としての評価も高まる。

原敬首相暗殺1921＝30歳：

関東大震災・1923＝32歳：経営する芸術社より「武者小路実篤全集」刊行開始。

護憲三派圧勝1924＝33歳：「散文芸術の位置」、

円本時代始・1926＝35歳：「さまよへる琉球人」、

金融恐慌・・1927＝36歳：

_文学者をとりまく時代の動向に関心を強め、小説「昭和初年のインテリ作家」「心臓の問題」などを発表。

満州事変・・1931＝40歳：

帝人疑獄事件1934＝43歳：長編「風雨強かるべし」、

二二六事件・1936＝45歳：

日中戦争始・1937＝46歳：

昭和10年代には独自の“散文精神”を説き、

大政翼賛会・1940＝49歳：「巷の歴史」に庶民生活を描いた。

日米開戦・・1941＝50歳：

年金+総武装 1944＝53歳：「徳田秋声論」、

敗戦・・・1945＝54歳：

独立回復・・1951＝60歳：カミュの「異邦人」をめぐる中村光夫と論争し、

TV放送始・・1953＝62歳：*松川裁判を批判して「真実は訴える」連載開始。

自衛隊発足・1954＝63歳：

インスタントラーメン・1958＝67歳：_「松川裁判」としてまとめる。

安保闘争・・1960＝69歳：

タイタイ病始・1961＝70歳：_回想をつづった長編「年月のあしおと」の連載を開始し、

TV宇宙中継始1963＝72歳：*完結。松川事件の最終判決が下り、被告全員の無罪が確定したのを見届けて、

震ヶ関ビル・1968＝77歳：_没した。